

研究構想シート	学校名	奥出雲町立横田小学校
	氏名	村尾 亮子
A 研究主題 認め合い、自らよりよい生活をつくる横田っ子の育成		
B 研究の目的 自己肯定感や自己有用感を伸ばし、他者意識を形成する中で、自分たちで学級や学校をよくしていこうとする児童を育てる。		
C 子どもの実態 これまでの特別活動の研究を通して、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの型を身に付け、自分たちで話し合いを進めることができつつある。(中・高学年)</li> <li>・人の話を聴くことを意識できている児童が多く、落ち着いて過ごすことができつつある。(学校全体)</li> </ul> 現在の課題として、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の目標を明確にもち、そのために行動しようとする姿が見えにくい。</li> <li>・学校生活をよりよくしていこうという主体性が見えにくい。</li> </ul>	E 手立て・内容(研究仮説) <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動や児童会活動・クラブ活動、学校行事を通して、児童が自他を認め合う経験を重ねることができるようにする。</li> <li>・学級活動の授業づくりを中心にして取り組む。そこで身に付けた資質・能力を児童会活動・クラブ活動、学校行事に生かすことができるようにする。</li> <li>・どの教育活動でも、よりよい自分やなりたい自分の姿を具体的にイメージできるようにする。その上で、自分の実態から自分にあう実践方法(めあて)を決めることができるようにする。</li> </ul> F 検証方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・めざす子どもの姿と、その分析基準を設定する。</li> <li>・生活の諸問題に目を向けて、「考える、実践する、振り返る」という一連の活動を行う。</li> <li>・児童の想いを学級活動や行事に取り入れる。</li> <li>・授業中のワークシートや、活動後の振り返りシートの記述内容から、児童の実態と変容を見取る。</li> <li>・学校評価アンケートの数値を経年比較し、分析する。</li> </ul>	D めざす子どもの姿 <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者と共にかかわり合いながら伸びる子</li> <li>・自分たちで学級や学校をよくしていこうとする子</li> <li>・自分のことは自分で考え、決めることができる子</li> </ul>
	G 研究計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの実態、めざす姿、手立てを全職員で考える。</li> <li>・特別活動の内容や目標、授業のポイントについて共通理解を図る。(文科省作成 映像資料の視聴等を通して)</li> <li>・1学期 授業研究 6月 4年生学級活動(2),2年生学級活動(3),5年生学級活動(1) 7月 6年生学級活動(1),3年生学級活動(2)※5、6年生は中堅研</li> <li>・夏季休業中 研究発表大会に向けて、授業構想・指導案作成</li> <li>・2学期 授業研究(11月8日 研究発表大会 3学級公開)</li> <li>・3学期 2月 研究仮説、手立て等の検証と評価</li> <li>・年度末 3月 研究集録完成、成果と課題、改善策の共有化、次年度の見通し、</li> </ul>	